東北農業研究（Tohoku Agric. Res.） 50, 227−228（1997）

ショクコンカスミソウ新品種の開花特性

第1報　秋切り作型の定植時期と切り花品質

江川　孝二・宗方　宏之*

（福島県農業試験場会津支場・*会津坂下地域農業改良普及センター金山出張所）

Flowering Characteristics of New Varieties of *Gypsophila Paniculata* L.

1. Effect of planting times and cut flower quality in autumn

Koji EGAWA and Hiroyuki MUNAKATA*

(Aizu Branch, Fukushima Prefecture Agricultural Experiment Station・*Kanayama Branch, Aizu Bange Regional Agricultural Extension Service Center)

1　は　じ　め　に

ショクコンカスミソウの切り花品種は，現在‘ブリストル・フェアリー’が生産量の8割以上を占めているが，近年，国内外の各種苗会社によって新しい系統・品種が育成され産地導入も進んでいる。しかし，品種特性については不明な点が多く，地域の作型にあった品種選択と栽培方法の確立が必要である。そこで県内に導入されている主な新品種の開花特性を明らかにするため，本試験では秋切り作型での定植期別の開花期と切り花品質について検討した。

2　試　験　方　法

(1)　試験場所：福島県大沼郡昭和村矢ノ原地区（標高：630m，黒ボク土）

(2)　区の構成

1)　供試品種：①ブリストル・フェアリー（対照），②ゴラン，③ニューフェイス，④ビックベン，⑤琴，⑥駒，⑦ブランシー

2)　定植時期：①7月1日，②7月15日，③7月30日　定植前日摘心した

(3)　耕種概要

1)　栽培様式：ベッド幅60cm，通路幅60cm，株間40cm，4本仕立て

2)　施肥量（kg／a）：N：1.5，P_2O_5：1.5，K_2O：1.5，堆肥300

3)　栽培管理：簡易雨除け栽培とし，ブリストル・フェアリーの慣行栽培法に準じた

3　試験結果及び考察

(1)　開花期（表1）

各定植時における開花期をみると，7月1日定植区では8月下旬から9月中旬の開花期となった。開花期が最も早かった‘ニューフェイス’（以下‘N.F.’）は，‘ブリストル・フェアリー’（以下‘B.F.’）より8日〜10日早く

表1　夏秋切り作型における定植時期の違いによる開花期及び切り花品質（1996年）

定植時期	品種名	開花期 始期（月／日）	盛期（月／日）	終期（月／日）	採花率（%）(11/1終了)	切り花品質 切り花長（cm）	切り花重（g）	調整重（g）	茎径（mm）	節数（節）	曲がり程度
7月1日	① ブリストル・フェアリー	8／29	9／4	9／10	100.0	93.0	101.9	65.5	7.3	16.6	3.5
	② ゴラン	8／30	9／2	9／9	100.0	96.6	123.0	59.5	8.4	16.3	4.7
	③ ニューフェイス	8／21	8／27	8／31	100.0	60.7	70.8	43.1	5.3	14.0	4.0
	④ ビッグベン	9／4	9／8	9／15	87.5	63.5	88.5	46.1	6.1	16.0	4.5
	⑤ 琴	8／31	9／8	9／13	92.5	87.8	117.9	67.3	6.8	17.1	3.6
	⑥ 駒	9／8	9／3	9／19	92.5	93.3	94.2	57.8	6.5	17.5	4.0
	⑦ ブランシー	8／29	9／5	9／10	100.0	94.1	99.3	65.1	6.9	16.2	4.2
7月15日	① ブリストル・フェアリー	9／15	9／22	9／27	100.0	98.9	88.9	60.7	7.4	15.7	3.9
	② ゴラン	9／17	9／24	10／20	95.0	101.1	139.6	63.6	8.3	16.1	4.5
	③ ニューフェイス	9／9	9／19	9／22	100.0	63.4	63.0	40.7	5.3	13.7	4.3
	④ ビッグベン	9／19	9／25	10／9	95.0	69.7	102.8	49.4	6.4	16.6	4.7
	⑤ 琴	9／21	9／29	10／20	92.5	97.7	94.9	55.7	7.0	20.4	4.0
	⑥ 駒	9／17	9／23	10／2	100.0	94.8	94.1	63.3	7.1	16.5	4.0
	⑦ ブランシー	9／20	9／26	10／3	100.0	100.8	101.9	65.1	7.1	15.5	4.3
7月30日	① ブリストル・フェアリー	−	−	−	7.5	112.9	64.1	−	8.1	16.7	−
	② ゴラン	10／23	10／31	−	60.5	102.8	115.1	50.4	8.3	17.3	4.2
	③ ニューフェイス	10／13	10／26	−	65.8	73.7	91.3	53.4	6.7	14.6	4.8
	④ ビッグベン	−	−	−	7.5	76.8	104.3	−	7.5	17.5	−
	⑤ 琴	−	−	−	2.8	105.9	117.1	−	7.7	17.6	−
	⑥ 駒	−	−	−	0.0	112.0	117.8	−	8.3	17.8	−
	⑦ ブランシー	−	−	−	0.0	106.9	122.7	−	8.3	17.0	−

注. 1)　開花期：始期（10%開花），盛期（50%開花），終期（90%開花）

2)　曲がり程度：1（軟）〜3（普）〜5（硬）の5段階評価

3)　7月30日定植区の切り花長，切り花重，茎径及び節数は11月1日時点の未開花茎を計測

開花し，8月末までに開花終了した。一方開花が最も遅れた‘駒’は，‘B.F.’より10日遅かった。また‘N.F.’の枝変わり品種である‘ビッグベン’は，‘N.F.’より2週間ほど開花が遅かった。

7月15日定植区の開花始期（10%開花）から盛期（50%開花）は，全品種，9月中旬から下旬の範囲であったが，その後，開花終期（90%開花）に至るまでの期間には品種間に差が見られ，‘ゴラン’と‘琴’は10月下旬に開花終期となり，特に‘ゴラン’はロゼット株となり開花できない茎も見られた。また，7月30日定植区では‘ゴラン’と‘N.F.’が6割程開花した以外は，低温の影響で開花が進まず，開花出来た茎の切り花品質も悪かった。

これらのことから，会津山間地域における定植晩限は7月30日以前で，気象条件等を考慮すれば7月20日頃と推定された。10月中旬以降に良品質で開花させるには，9月下旬から被覆や加温等が必要となる。

(2)　切り花品質（表1）

各定植時における切り花品質の違いは，切り花長では‘N.F.’と‘ビッグベン’が60cm～76cmと短かった。他の品種は，7月1日定植区の‘琴’が87.8cmであったことを除けば，いずれの定植時でも‘B.F.’とほぼ同等の90cmを超える切り花が採花できた。

調整重が切り花重に占める割合は，‘ゴラン’が最も低く43～48%，次いで‘ビッグベン’の48～52%となる。このことから‘ゴラン’や‘ビッグベン’は供試品種中では作業効率が低く，同時に生産性の低い品種と推察できる。

茎径は，‘ゴラン’が最も太く8.4～8.3mm，最も細かった‘N.F.’は6.7～5.3mmであった。

表2　一段節位分枝の開張角度と上位長（1996年）

定植時期	品種名	開張角度（°）	上位長（cm）
7月1日	① ブリストル・フェアリー	62.2	42.4
	② ゴラン	62.2	20.3
	③ ニューフェイス	50.2	37.5
	④ ビッグベン	52.5	39.7
	⑤ 琴	64.1	34.0
	⑥ 駒	58.6	38.2
	⑦ ブランシー	62.8	40.5
7月15日	① ブリストル・フェアリー	57.0	45.3
	② ゴラン	61.6	24.5
	③ ニューフェイス	49.4	45.0
	④ ビッグベン	51.9	42.5
	⑤ 琴	53.9	34.9
	⑥ 駒	57.8	41.1
	⑦ ブランシー	56.6	46.2
7月30日	① ブリストル・フェアリー	－	－
	② ゴラン	55.5	18.1
	③ ニューフェイス	51.1	46.5
	④ ビッグベン	－	－
	⑤ 琴	－	－
	⑥ 駒	－	－
	⑦ ブランシー	－	－

注．－印は11月1日時点で開花率10%未満のため未調査。

茎及び草姿の硬軟を「曲がり程度」として5段階評価で相対比較したが，いずれの品種も‘B.F.’に優っており，特に‘ゴラン’と‘ビッグベン’は高温時期の開花でも剛直さが目立った。

(3)　分枝の特徴

分枝長と開張角度を表2に示した。市場や生産者間ではシュクコンカスミソウの開花程度やボリュームを比較する目安として基点となる「最終の二分枝節」を通称「一段節」と呼んでいるが，それにならい最終の二分岐節から上の主茎長を「一段節上位長」と定義した（図1）。

‘ゴラン’は，切り花長が95cm以上であるに対し一段節上位長が20cm前後しかなく，他品種と比較して短い。

逆に7月15日定植区の‘N.F.’は，切り花長63cmに対し一段節上位長が45cmであった。また一段節分枝角度は，‘N.F.’が最も鋭角で約50°であった。‘N.F.’の枝が混んでいてボリューム感があるとされる要因は，これらの理由によると考えられた。

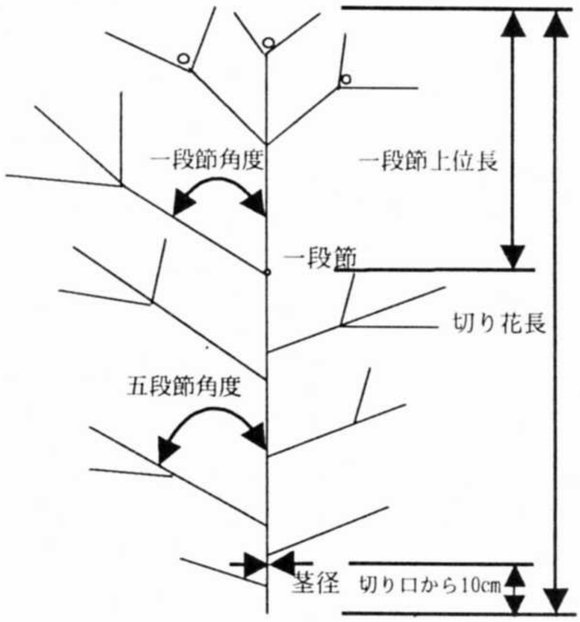

図1　調査部位

4　ま　と　め

(1)　会津山間地域における雨除け栽培の定植晩限は，全品種ともに7月20日頃と推定される。

(2)‘ブランシー’，‘琴’，‘駒’は，開花期に若干の品種間差異がみられるが‘B.F.’と同等からやや優る切り花品質を有する‘B.F.’の選択系統と位置付けられる。

(3)‘ゴラン’は高温条件下にも茎が剛直に生育するため，‘B.F.’が軟弱茎となり易い会津盆地平坦地域などへの導入が期待される。しかし，低温期にはロゼット株になり易く注意が必要である。

(4)‘N.F.’は切り花長が60～73cmと短いため，夏秋切りの作型には不向きな品種である。